



令和5年度北海道防災総合訓練

10月15日、日高管内7町による防災総合訓練が行われました。
この訓練は、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震による大津波発生を想定し、メイン会場の一つである日高町では、ヘリコプターやボートによる救出救助訓練やDMAT（災害派遣医療チーム）及び消防などによる医療救護訓練、内陸地域である平取町への広域避難訓練が行われ、30名の町民が参加しました。



日高西部消防組合災害警備合同訓練（管理者訓練査閲）

10月31日、日高西部消防組合消防庁舎訓練場において、災害警備合同訓練が行われました。
この訓練は、平成30年の北海道胆振東部地震災害を教訓とし、400年に一度の大地震と言われている日本海溝・千島海溝沿い巨大地震による土砂災害及び火災を想定としたもので、災害が発生した場合における消防組合の応援・指揮・支援体制の拡充を図るとともに、他機関・消防組合内との相互の連携体制の醸成と構築を図ることを目的として実施されました。



①自然災害活動訓練

地震の発生により、土砂・倒木等の災害による倒壊した家屋、埋没車両から要救助者の救出・救急活動が行われました。

②救急救命処置展示

令和4年10月から運用開始している自動心臓マッサージ器による、心肺停止傷病者に対して救急救命士が実施する救急救命処置の展示が行われました。

③火災消火救助訓練

地震の発生により、耐火構造5階建て共同住宅1階部分からの出火を想定し、逃げ遅れた方の早期の人命救助活動と圧縮空気泡消火システム放射による消火・延焼阻止を主眼とした消防活動が行われました。



スマートフォン教室

10月5日、6日の2日間、門別公民館においてスマートフォン教室が開催され、35名の方が受講しました。

教室は、KDDIスマホ・ケータイ安全教室認定講師から、タップ、スワイプ、フリック入力などのスマホの基本操作や、便利なアプリの活用方法などについて学びました。

受講者は、「基本的な操作が理解できた」、「アプリの使い方をもっと知りたい」と話していました。



積極的にスマホを触って覚える受講者たち



吹奏楽部顧問の小川先生指揮のもと演奏する部員たち

第1回定期演奏会の開催

10月22日、富川中学校体育館において、富川中学校吹奏楽部による第1回定期演奏会が開催され、1年生11名、2年生5名、3年生6名の計22名での演奏となりました。

ゲストステージとして、富川高校吹奏楽部、平取高校吹奏楽部による演奏も披露されました。

創部以来初めての定期演奏会となりましたが、日々の練習の成果を十分に発揮し、素敵な音色が奏でられました。

収穫の秋 地場産食材を学校給食で味わう

・JA門別町からお米の寄贈

門別町農業協同組合（本間充組合長）よりブランド米「馬舞米（うまいべ）」の新米を寄贈していただきました。

寄贈は「ゆめぴりかコンテスト2020」で最高金賞を受賞したことをきっかけに、今年で4回目となりました。

10月下旬から学校給食で提供され、子どもたちは旬の味覚である新米を「お米が光っている、とても美味しい」と味わっていました。

・日高定置漁業者組合から「銀聖」の寄贈

日高定置漁業者組合（佐藤勝組合長）より、ブランド秋さけ「銀聖」を寄贈いただきました。

町では、地域の特産物や食文化、農林水産業への理解を深めることを目的に、地域で生産された身近な食材を給食に使用しており、

10月4日には「銀聖の日」（10月1日）にちなんで、学校給食特別メニュー「銀聖の塩焼き」が提供され、児童生徒は美味しく貴重な食材を味わっていました。



門別小学校での給食の様子（新米）



日高小学校での給食の様子（銀聖）